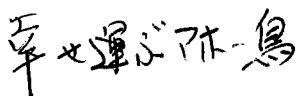


12/30(土) まど！ 倫理研究会 今週 1062号で終ります。二の一年に向かって、よき年になります。  
意味がある人です。全てに感謝する事が好き嫌いがなくなります。

今週の倫理 1062号 2017.12.30 ~ 2018.1.5



十二月のテーマ

食べる  
生きる  
と

新

しい年を迎えるまで、数日を残すのみとなりました。

無病息災を願う。

・れんこん……穴があることから将来の見通しが利くように。

私たちがいただいている食物は自然の恵みであり、多くの人の手を経て、食膳にのぼっています。

「新年」「お正月」と聞いて、思い浮かぶものの一つに「おせち料理」があります。華やかな料理が正月を彩り、目を楽しませてくれます。この年末、おせち料理の準備に忙しい人もいることでしょう。

立身出世を願う。

ただ、そのことを日々の食事の中で意識することは、それほど多くないかもしれません。

おせち料理の起源は、一説では弥生時代にまで遡るようです。当時の人々は、自然の恵みや作物の収穫を神に感謝し、生活に節をつけていました。この節に収穫物を神に供えることを「節供(せつぐ)」といいます。お供えたものを皆で分かち合い、自然に感謝していく

白は清浄や神聖をあらわす。

祝いの水引きにも通じる。まだたくさんあります。おせち料理の食材には、こうした願いが込められているということです。

ただく料理を「節供料理」といい、これがおせち料理の始まりだといわれています。

先に紹介したおせち料理の起源の中に、「自然の恵みや作物の収穫に感謝」という一節がありました。食物の恩については、『万人幸福の栄』第十三条に、次のように記されています。

たとえどんな食物でも「今日一日の生命の糧である」と、喜んで、感謝いっぱいで箸をとる。これが食事の倫理です。多くの恩の中に生きているのが私である。このことを思うと、世のために尽さずにはおられぬ、人のために働くにはおら

また、おせち料理の一つひとつには意味があります。これも様々あります。ここでは代表的ないわれを紹介しましょう。

・数の子……卵の数が多いので子宝や子孫繁栄を願う。

・黒豆……まめ(まじめ)に働き、

・れんこん……穴があることから将来の見通しが利くように。

・ぶり……出世魚であることから立身出世を願う。

・紅白がまほこ……紅は魔除け、白は清浄や神聖をあらわす。

・紅白なます……紅白めでたく、祝いの水引きにも通じる。

まだたくさんあります。おせち料理の食材には、こうした願いが込められているということです。

食材に込められた願いを噛み締めながらいただきことは、意義のあることでしょう。それは、日常の食事にも感謝を寄せることがあります。「ありがたい」という感謝が根底にあるなら、食べ物の好き嫌いをすることもなくなり、何を食べても「美味しい!」と感じるものです。

たとえどんな食物でも「今日一日の生命の糧である」と、喜んで、感謝いっぱいで箸をとる。これが食事の倫理です。多くの恩の中に生きているのが私である。このことを思ふと、世のために尽さずにはおられぬ、人のために働くにはおら

参考：一正蒲鉾株式会社HP（特集  
おせち料理）、暮らし歳時記HP